

「志高く奉仕の心」

会長 柳 清二



THE WEEKLY REPORT

2012~2013

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2792回 例会

プログラム

民間企業の広報戦略について

No. 2628 10月18日(木)

次週以降の予定

10月25日(木) 旭川におけるものづくり人材育成講座

11月1日(木) 卓話

11月8日(木) 会員卓話

第2791回 例会報告

2012年 10月11日(木)

会長挨拶・報告



1999年11月ベートーベン作曲のマーチ編曲(Egmont序曲)がロータリー公式の歌として決定されました。例会で歌を歌う習慣は、1905年シカゴクラブの印刷業ハリー・ラグルスが、親睦が薄れてきたクラブに和やかさと友愛を取り戻すために提唱し、歌を歌うことが友情を深めるために著しい効果があったといわれています。

1935年(昭和10年)に全国的に日本語のソングが公募され、「奉仕の理想」「我等の生業」が同年5月、京都で開催された年次大会で発表されました。

1952年(昭和27年)4月、大阪で開催された年次大会で「手に手つないで」「ロータリー賛歌」が発表されました。「それでこそロータリー」は1953年に作曲されました。ちなみに「我等の生業」は小学唱歌「故郷」「月夜」でお馴染みの高野辰之 作詞、岡野貞一作曲であり、他多くのロータリアンにより作詞作曲されています。

奉仕の理想、四つのテスト、我等の生業、手に手つないで、それでこそロータリー、友ら集いて、結婚記念日のうた、おめでとう皆出席、歓迎の歌、友、理想にもえて、ロータリーって何だろう、花になろう、鳥になろう、いざ友よ、日も風も星も、R-O-T-A-R-Y、Birthday Song、Smile-Sing A Song、Sing Everyone Sing など。

幹事報告



①美唄RCより会報が届いております。
②何度かお知らせしておりますが、10月14日(日)は地区大会です。出席者でバス利用の方は、早朝ですがスエヒロ前5時30分発ですので、遅れないようお願い致します。尚、朝食にお弁当を用意しております。

委員会・同好会報告

高木 敏行 会員増強副委員長

10月20日(土)、ホテルスエヒロにて 森永卓郎 氏の講演会がございます。無料となっておりますので、是非ご参加をお願い致します。

西村 恒則 ゴルフ同好会会長

柳年度の第1回目のゴルフコンペを、10月28日(日)に空知カントリークラブで行います。

大勢の御参加を頂きますようお願い申し上げます。

ロータリーの友



横山 和幸 ロータリーの友副委員長

①10月は職業奉仕月間および米山月間ということで特集が組まれており、米山記念奨学会で育った多くの外国人留学生の中から、現在母国や日本で活躍されている方々が紹介されています。また、海外4番目として発足したタイ米山校友会によるバンコク国際大会での米山ナイトについての記事が掲載されております。

②2013年、国際ロータリー年次総会が開催されるリスボンについての記事が掲載されております。記事自体も非常に面白いものとなっておりますが、写真も素晴らしく、見ごたえがあり興味が尽きないものとなっております。

先週のプログラム

米山記念奨学会委員会担当例会

ゲスト卓話



水原 勝之 米山記念奨学会委員長

10月は米山月間に指定されております。これは日本のロータリー独自のプログラムですが、これを機会にこのプログラムについて再認識し、ロータリー米山奨学事業

を考えて行かなければならないと思っています。

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。年間の奨学生採用数は800人、事業費は14億円と国内では民間最大の奨学事業となっております。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で17,028人、その出身国は世界121国と地域に及びます。日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して始めた米山奨学事業は、「1ヶ月のタバコ代を節約して奨学金に」という掛け声から始まりました。昨今、タバコを吸わない人が多くなってはいますが、吸う人はもちろん、吸わない人も寄付をお願い致します。



地区米山記念奨学会委員長・
札幌幌南ロータリークラブ
大作 佳範 様

今、米山の現状として、今年まで全国で800名の奨学生を支援していましたが、寄付金の減少の結果、来年度からは700名で100名減となっています。2510地区については今年18名の奨学生を支援しておりますが、来年度は14名で4名減の厳しい状況にあります。皆様方には毎年大変ご協力を頂き有り難いと思っています。この現状をご理解頂き、どうぞ引き続きご協力をお願い申し上げます。

米山学友会は今、国内に30ヶ所あります。国外では台湾・韓国・中国と全部で33ヶ所あり、中国はできて3年目になります。毎年総会をしており、例会も全て日本語で行っております。今年の総会については延期ということでの委員長宛にお詫びのメールが届いております。全部を紹介すると長くなりますので、最後の一文を紹介させていただきます。

『我々中国の米山学友は、日中の恒久的な平和推進に大きく貢献して参る所存です。今後もこの原点をしっかりと念頭に置いて奮闘していきたいと思っております。どうか引き続きご指導ご鞭のほど宜しくお願い申し上げます。敬具』

やはり、米山の精神というのは民間外交という中で平和を目指すというのが基本理念でございますが、間違いなく、この米山奨学会で育ち中国に戻った方々が日中国交のために活動しているという現状もございますので、あわせてご報告をさせていただきます。

「米山奨学生になって」



米山奨学生(北海道大学 修士課程
在籍、出身国：中国・貴州省)

リ シン 様

2010年10月に日本に来て、北海道大学で農業機械について勉強し、ちょうど2年となります。皆様ののおかげで安定した留学生活をしており、大変感謝しております。

日本での暮らしですが、日本に来て知らない土地での初めてのことが凄く不安の連続でした。しかし、幸いにも沢山の素晴らしい友達、周りの人達に親切にして頂き、札幌での生活にも慣れ、多くの知識も吸収できました。札幌駅に到着して北大に行く途中、街が凄く麗であることに驚きました。また、水洗トイレの機器(機能)や日本人が電車で携帯電話を使わないこと、時間や約束を守ること、いつも他人に迷惑を掛けないようにしていることに感心しました。テレビで見た大震災の映像でも、被災者が列を作って順番待ちしたり、節電の為に全国の人々が協力したりしています。小学校を見学した時にも凄く良い事に気づきました。それは「給食」です。

みんなが同じものを食べることで子供達が健康に育ち、好き嫌いを言わなくなるからです。また、グループで学校(教室)を掃除することにも驚きました。これは、常に周りを麗にしようということが身に付くので感心しました。将来、私が母国に帰った時、この日本の素晴らしさを伝えたいと思っております。

私の夢は、安くて使い易い農業機械を作る事です。農業は人間社会にとって重要な産業のひとつとされていますが、近年では農業従事者の高齢化、継承者の問題など農業人口が段々減ってきました。そこで、農業機械の研究・開発がとても重要となります。私は、小麦収穫コンバインに取り付ける品質センサーに関する研究をしています。これは、収穫作業をしながらタンパク質含有率や水分量などを計測できることが予想されます。

(中略)

最後に、米山奨学生として支援いただき本当にありがとうございます。これからも、支援して下さっている皆様の事を胸に勉強し、自分の目標に向けて頑張っていこうと思っております。そして、日中交流の懸け橋の役目をし、一人(いちにん)のロータリアンになれるよう頑張っていきたいと思っております。ご清聴ありがとうございます。



渡邊 恭久会員

米山記念奨学会委員長、大作佳範さんをお迎えして。歓迎いたします。

川原 弘嗣会員

誕生日のお祝いをいただき有り難うございました。

佐伯 敏和会員

結婚記念、よく持った銀婚式です。(お花をいただき。)

西村 恒則会員

結婚記念を頂いて。

水原 勝之会員

担当例会を終えて。

会長/柳 清二
幹事/川原 弘嗣
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。